

平成27年度 日比谷高校 《グローバル通信》

東京都教育委員会指定

文部科学省指定

東京グローバル10・SGHアソシエイト

◎講演会「世界と日本の子どもの現状を知り、グローバルスタンダードの視点をもつ」

2月18日（木）に、東洋大学ライフデザイン学部准教授の内田塔子先生をお招きし、「世界と日本の子どもの現状を知り、グローバルスタンダードの視点をもつ～国連・子どもの権利条約を踏まえて～」と題して講演会を実施しました。内容は多岐にわたり、大学の授業に近い形で講義をいただきましたが、高校生にも十分興味・関心もてるものでした。世界的な会議などにも多数参加されている先生の講義は本校生徒にも良い刺激を与えました。

<参加生徒の感想>

- ・日本だけを見ても子どもに関わる問題は多種多様であり、複雑であった。子どもが子どもらしくいることが難しい世の中になってきていると感じた。世界にも子どもに関わる問題は様々あるが、まずは自国のことを考えていかなければならないと思う。（言語学習の大切さも学びました！）
- ・世界の子どものに関する問題を改めて知れたのも大きいですし、日本の子どもも自分と違う境遇に遭っている子どもがいるということを教えていただいたのがよかったです。私も教育を目指しているので言語力や異文化体験などこれから必要になってくることを教えていただきとてもためになりました。広い教養が大切なんだなと思いました。



◎講演会「グローバル社会とジャーナリズム」

1月19日（火）に、NHK国際部記者であり、本校卒業生でもある神津全孝（こうずまさたか）氏を講師に迎え、標記のテーマで講演をしていただきました。神津氏自身が制作した番組を題材に、普段はテレビや新聞などのマスメディアを通じてしか得られない情報について、どのように考えるべきなのか、また、製作者の思いはどのようなところにあらわれるのかなどをお話いただきました。現場を知る方からの話は説得力に富み、参加生徒も神津氏の話に引き込まれていく様子が印象的でした。

<参加生徒の感想>

- ・神津さんの話を聞き、ジャーナリストの活動を知れただけでなく、ジャーナリストの考え方を知ることができ、とても面白かったです。
- ・グローバル社会で活躍するということは口で言うのは簡単でも実際どのように活躍するのかはわからないでいました。しかし今日のお話を聞いて、こんな活躍の仕方もあるんだなと自分自身の視野が広がりました。



◎講演会「グローバル社会でインターネットを活用しよう」

12月8日(火)に「はてなブックマーク」、「はてなダイアリー」などを運営する株式会社はてなの代表取締役社長の栗栖義臣(くりすよしおみ)氏をお招きし講演会を実施しました。理系出身の社長ですが、あえて文系的なテーマで講演していただきました。I18N(internationalization) L10N(localization)など、業界ならではの言葉なども交えながら、国や地域・文化・宗教などさまざまな視点の必要性を感じさせる内容でした。

<参加生徒の感想>

- ・今回の講義を受けて、グローバル社会でのインターネットの活用というテーマのもと、グローバル社会で重要なことをさまざま知り、将来につながる良い話を聞け、とても勉強になった。
- ・私もオンラインゲームやツイッターなどをやっており、いろんな人とつながりをもちたいと思っているが、なかなか勇気が出ない。今回の講演をきっかけにいろんな人と積極的にかかわってみたい。海外での文化や社会の違いなどについてよく考えてみたいと思った。



◎講演会「グローバル社会と英語：国際コミュニケーションのための英語とは」

10月13日(火)に、京都大学が高大連携事業の一環として行っている「学びコーディネーター」の出前授業を活用した講演会を実施しました。京都大学大学院人間・環境学研究科の博士後期課程3回生の方を講師として、世界共通語としての英語の使用状況について具体的資料を用いて説明があり、そこからグローバル社会において英語を学ぶ意義について考えました。若手研究者による講義ということもあり、参加生徒も親近感をもって講義に聞き入っていました。また、講演後には京都大学入試科から大学紹介もありました。

<参加生徒の感想>

- ・これまで英語はネイティブスピーカーと話すためのものとして勉強を続けてきたが、今回リングフランカという考え方を教わり、新鮮だった。
- ・普段何気なく学習している英語の背景、歴史を知ることができ、英語への関心・意欲が強まった。講義の内容は易しいが、しかし、新しい知識と細やかな解説が随所に見られたため、最後まで受け応えのある、楽しい講義だったと思う。
- ・高橋さんの研究から得られた様々な専門的な話を聞くことができ、言語学や社会学など様々な角度から見た英語の教科「英語」ではない新たな側面を知ることができた。



◎グローバルリーダー育成海外研修《ボストン・ニューヨーク海外研修》 成果報告会



10月21日(水)午後3時30分より、本校の会議室において、グローバルリーダー育成海外研修《ボストン・ニューヨーク海外研修》成果報告会が行われました。当日は、来賓として、メキシコ大使館より、カルロス フェルナンド アルマダロペス大使、エクトル コルテス ゴメス ルエダ公使、清水幸秀 ディエゴ 農務プロモーション担当の三名の方々、日本アスペン研究所より、橋本 美博 事務局長、伊藤 健 常務理事、そして東京都教育委員会より米村 珠子 主任指導主事の先生方をお招きして行われました。生徒達がニューヨークのアスペン研究所において、食料問題の専門家の先生方に対して行ったプレゼンテーションが再現されました。また、来賓の方々より貴重なメッセージと助言を頂きました。



メキシコ大使館
アルマダロペス 大使



メキシコ大使館
ゴメスルエダ 公使



日本アスペン研究所
橋本美博 事務局長

◎グローバルリーダー育成海外研修
《ボストン・ニューヨーク海外研修》

本校のグローバル事業の大きな柱であるグローバルリーダー育成海外研修《ボストン・ニューヨーク海外研修》が8月21日～28日にかけて行われました。世界の高校生として初めて、米国のアスペン研究所において、専門家に対して《地球規模の食料問題の解決策》について提言することを大きな目標に掲げ、12名の生徒達は約二カ月の間、様々な事前学習、事前研修を経て、この海外研修に臨みました。そしてボストンとニューヨークにおいて様々な体験を経て、大きな成果を上げて帰国しました。今後、この海外派遣研修は、来年度以降も継続されていきます。

主な行程・内容について

.....ボストン.....

・ハーバード大学訪問

現地の日本人大学生にキャンパスを案内して頂き、ハーバード大学の授業、学生生活など幅広いお話を伺うことが出来ました。



・MITマサチューセッツ工科大学訪問

大学院SDMシステムデザインマネジメントで教鞭をとられ、一方でベンチャー企業の社長でもあるブライアンモーサー博士による「リーダー論」の授業を受けるとともに、日本からの8名の留学生に集まって頂き、MITでの大学生活や将来についての懇談する機会を得ました。



・米国建国の歴史のアクティブラーニング

班別行動による事前学習を踏まえたフリーダムトレイルを辿る米国歴史の学習



..... ニューヨーク

・ニューヨーク連邦準備銀行訪問

米国の金融システムとFRBの役割の学習、施設見学

・アメリカ現代史の学習

World Trade Center & Tribute Cenyer 見学

・国際連合本部見学

総会場、安全保障理事会、信託統治評議会、ECOSOC等会議等見学

・UNISマンハッタン校教諭による講義

国際バカロレアに対応したカリキュラム、国連職員の生活についての講義

・アスペン研究所での研修・プレゼンテーション

生徒によるプレゼンテーション及び米国大学教授による講義と助言



ニューヨークのアスペン研究所での生徒によるプレゼンテーションと専門家による講義とディスカッション

◎メキシコ大使館でのプレゼンテーション

8月の海外派遣研修に参加する生徒12名とグローバル委員会代表生徒1名が、研修の一環として、7月7日(火)にメキシコ大使館を訪問しました。この間取り組んできた学習成果を踏まえ、メキシコ大使館の公使、農務省担当の方々の前で、生徒達による「国際規模での食料問題の解決策」に対する提言プレゼンテーションを行いました。その後、それを受けてより大使館の方より御助言とメッセージを頂きました。プログラムは終始英語で行われました。



メキシコ大使館での生徒によるプレゼンテーション 及び ゴメスレエダ公使による講演

◎国連大学訪問

国際社会に貢献している機関を実際に訪れ、その取組を学ぶ目的で、7月14日(火)に日本の国連大学を訪問し、教鞭をとられている先生より直接講義を受けました。当日は、国際貢献についての様々なお話を聞き、関心を深めることが出来、有意義な機会となりました。

